

新幹線プレス

2013年3月11日 No.103

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

東日本大震災から2年！原発のない安全で平和な社会をつくろう！

3月11日、東日本大震災から2年になります。死者、行方不明者は1万8千人を超える大惨劇となりました。

また、福島第一原発事故の影響で汚染地域から避難し家に帰れない人々は16万人もいます。さらに、事故に伴う避難やストレスによる体調悪化などで亡くなった人は、少なくとも789人に上がることが報道されています。

福島第一原発事故は、原発が暴走すれば人間は無力であることを証明しています。私たちは原発のない安全で平和な社会をつくらなければなりません。



原発の再稼働・推進を許すな！

福島第一原発は未だに収束の目処すらたっていません。しかし、安倍首相は3月7日の衆議院予算委員会で「この3年で再稼働させるものは再稼働させる」「安定的な電力をしっかりと得ることが経済成長、安心できる生活にもつながっていく」と重ねて強調しました。

しかし、安倍首相の発言は「原発の再稼働」を実現するための詭弁でしかありません。今年の夏も電力不足とはならず、現在も原発がなくても電力を十分供給できています。また、原発で事故が起きれば、安心した生活ができないことは福島第一原発事故を見れば明らかなことです。

さらに日本は、原発事故後の2012年、ヨルダン、ベトナム、ロシア、韓国などと原子力協定を結んでおり、ベトナムは原発をすでに発注済みです。このように、日本はレベル7という最大の原発事故を起こしながら、世界に日本の原発を売り込んでいます。絶対に許せないことです。

私たちはこれまで原発の再稼働を許さず、全ての原発の廃炉を求めて取り組みを進めてきました。しかし、安倍政権は、福島第一原発事故がありながら何も教訓とせず、原発の再稼働・推進を進めています。私たちは、これまで以上に反原発の闘いを職場から構築していかなければなりません。

私たちはこれまで以上に反原発の闘いを職場から構築していかなければなりません。



